

あいサポート・アートとっとり展

だれもが才能の持ち主

あいサポート・アートとっとり展 webmagazine

@タナカリナさん

前年の「あいサポート・アートとっとり展」で文芸部門（最優秀賞）、マンガ部（銀賞）の2部門で入賞をした、タナカリナさんの制作の場にかがいました。絵画、写真、小説、漫画など色々な表現方法に興味がある彼女の部屋にはイラストやカメラ、コンピューターなどの実用書がいっぱい。好奇心旺盛な彼女は、現在日本画と写真を勉強中です。



鳥取市展入賞作品

対人恐怖がある彼女は、安心できる自宅の部屋で、アイデアが思い浮かんだ時に制作活動をするスタイル。小学生の時から絵は絵画でも、漫画でも全てがタナカさんテイストの少女漫画タッチに。それが指摘の対象となり、決して美術の成績はいいものではなく、文章を書くのも苦手だったそうです。

そういった事や色々な事情があり「最初は作品を発表するのが怖かった」といいます。

そんな時、通っていた作業所で似顔絵を描く機会があり、彼女ならではのキラキラした目の絵のタッチが人気に。「作品が好き」と言ってくれる人にはげまされ市展などに積極的に出展をはじめました。

鳥取市展入賞（ミクストメディア）、心の輪を広げる体験作文（作文）で6年連続入賞、あいサポート・アートとっとり展（詩、マンガ）で入賞をするなど、一つのジャンルだけではなく、多彩な才能を発揮しています。



日本画の絵の具・顔彩で絵画の制作中



勉強中の日本画



「令和元年度あいサポート・アートとっとり展」
文芸部門最優秀賞作品「カメラ」



彼女にとって作品を制作することは、辛い事を昇華させたり、心の支えになってきました。友達がいなかったり、嫌なことが続いていた高校時代には、常にカメラを持ち、下校のときは対人恐怖ゆえにバスには乗らず、撮影散歩をすることを楽しみにしていました。そのカメラが令和元年度「あいサポート・アートとっとり展」で文芸部門最優秀賞を受賞した作品「カメラ」で、友達として登場します。

緊張をするとお腹の調子が悪くなってしまうというコンプレックス。それを昇華させるように描かれたのが、平成30年度「あいサポート・アートとっとり展」に出展した作品。マンガの主人公である池照タクヤは女子に大人気のイケメンだけれど、その彼がおならで飛んでいくのがオチ。彼女ならではの明るさで、自分のように辛い経験をしている方に少しでも元気を出してもらえる作品が作りたいているそうです。

彼女を応援する多くの人々からもらった自信と、彼女自身が経験した辛いことも楽しいことも糧にして、彼女の作品制作は続いています。

今年はどんな作品が登場するのでしょうか。楽しみです。